

平成26年度 病虫害発生予察情報

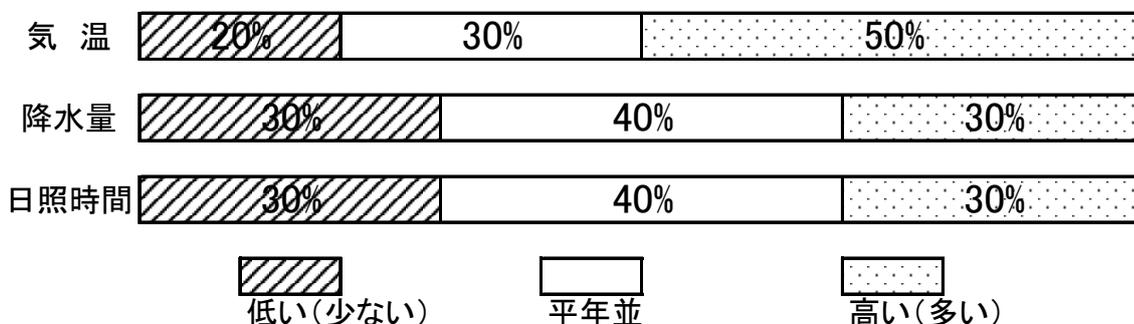
発生予報第8号（10月）

平成26年 9月30日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	平年並
野菜	キャベツ	黒腐病	平年並
		菌核病	平年並
	アブラナ科野菜	コナガ	平年並
		ハスモンヨトウ	少ない

中国地方1か月予報(9月27日～10月26日・広島地方気象台9月25日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

①9月1半旬から9月5半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は25頭（平年177.1頭）とやや少ない。

②9月下旬の巡回調査での累積被害果率は5.4%（平年5.6%）と平年並みである。

③10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

①9月19日現在、巡回調査圃場において発生は確認されていない（平年発生圃場率2.2%）。

②ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生は少ないと予想されている。

③10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

① 9月19日現在、巡回調査圃場において発生圃場率3.6%（平年発生圃場率1.1%）で平年並みである。

② 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

① 9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の発生圃場率は30.0%（平年20.1%）、寄生株率は2.0%（平年2.5%）でほぼ平年並みである。

② 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない

予報の根拠

① フェロモントラップによる7月初めから現在までの雄成虫累積誘殺数は、出雲市で平年の33.2%、益田市で平年の28.4%と少ない。

② 9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生圃場率は10.0%（平年43.0%）、寄生株率は0.5%（平年7.3%）で発生量は少ない。

③ 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougaityuu/>